

第六十五回
帝國議會
貴族院

原蠶種管理法案特別委員會議事速記録第四號

昭和九年三月二十二日(木曜日)午前十時
十九分開會

○委員長(侯爵大隈信常君) ソレデヤ是ヨ

リ原蠶種管理法案ノ特別委員會ヲ開キマ
ス、二三日休ミマシタカラ又質問ガオアリ
デゴザイマスレバ、此場合ニ質問ヲ續行シ
タイト思ヒマス

○男爵肝付兼英君 先日御配付戴キマシタ
勅令ヲ以テ規定スベキ事項ノ中ニ、關係各
省高等官ト云フ其關係ト申シマスノハ、ド
ノ範圍ノ關係デスカ

○政府委員(井野碩哉君) マダ其點ハハッ
キリ決メテ居リマセヌノデスガ、主トシテ
農林省ガ之ニ當ルノデゴザイマスガ、或ハ
大藏省其他、斯ウ云フ財政上ニ關係ノアリ
マス所ノ方ニ關係シテ戴クヤウニナルカモ
知レマセヌ、品種ノ問題デゴザイマシテ、
専門的ノモノデゴザイマスルカラ、外ノ省
ハ餘リ關係ハ無イト考ヘテ居リマス、唯斯
ウ云フ場合ハ大抵關係各省ト書クモノデア
リマスカラ、農林省ダケデモ或ハソレニ當
ルヤウニナルカトモ思ッテ居リマス

○阿部房次郎君 此條文ノ中ノ第六條ニ付
テ御尋ネ致シマス、第六條デ「政府又ハ府縣

ハ第三條、前條第一項又ハ第十二條ノ規定
ニ依リ配付スル原原種又ハ原種ニ對シ勅令
ノ定ムル所ニ依リ料金ヲ徵收スルコトヲ
得」トシテアリマスルガ、是ハ矢張り料金
ヲ御取リニナルノデスカ、或ハ無料デ配付
ナサル御趣旨デスカ、ドンナコトデスカ

○政府委員(井野碩哉君) 政府ガ原原種ヲ
府縣ニ配付イタシマス場合ニ付キマシテ
モ、是ハ料金ヲ徵收シタイト考ヘテ居リマ
ス、ソレハ大體豫算ノ立テ方カラ申シマス
ルト云フト、マア約一蛾ニ付キマシテ平均
三十錢位ノモノヲ取リタイト、斯ウ考ヘテ
居リマス、ソレカラ府縣ガ蠶種製造者ニ配
付イタシマス場合ニ付キマシテモ、出來ル
ダケ府縣ノ負擔ヲ今後増加イタシマス分ヲ
輕カラシメタイ爲ニ、矢張り料金ヲ取ラシ
テ配付シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○阿部房次郎君 モウ一ツ御尋ネ致シタ
イ、今頃御尋ネスル問題デヤナイノデスガ、
大體此法案ハ此前ニ品質ノ改良ト云フコト
ガ土臺デアリマセウケレドモ、之ニ依ッテ
大體生産制限ヲシヤウト云フ御考カラ此法
案ガ出來テ居ルノデアリマス、其點ヲモ
ウ一ツ伺ヒマス

○政府委員(井野碩哉君) 此法案ハ二ツノ
大キナ目的ヲ持ッテ居リマス、一ツハ今御話
ノ品種ノ統一向上ト云フコトニ重キヲ置キ
マス場合、一ツハ生産統制ト云フコト、此
二ツヲ目的トシテ居ルノデアリマス、唯先
日來御説明申上ゲマシタヤウニ、生産ノ統
制ノ場合ニ於キマシテハ、普通蠶種ニ於テ
統制ヲ致シマセヌト、數量ノ統制ト云フコ
トハ困難ナノデアリマス、所ガ普通蠶種ヲ
造クリマスノニ原原種カラ約三年カカル譯
デゴザイマスルカラ、從テ本年生産統制ヲ
ヤリタイト云フトキニ、原原種ニ於テ生産
統制ヲ行フト云フコトハ、是ハナカク困
難ナ問題デアリマス、從テ此十條ニ於キマ
シテ、原原種デナシニ、普通蠶種ニ對シテ
モ國家蠶絲業ノ非常時ニ於キマシテハ、當
業者ノ自治的ニ統制ヲ行ヒマス場合ニ、此
十四條ノ命令ト致シマシテ普通蠶種ニ對シ
マシテモ、生産制限ノ命令ガ發セルト云フ
コトニナッテ居リマス

○阿部房次郎君 モウ一ツ御尋ネシタイ、
サウ致シマス、只今ノ御説明ニ依リマシ
テ、原原種カラ行キマスルト三年先デナケ
レバ統制ガ出來ナイ、ケレドモ統制ノ必要

ガアルトキニハ、此第十四條ノ蠶種製造者
ニ對シテ統制ノ必要ナルコトヲ命令スレ
バ、其年カラデモ行ケルコトニ相成ル譯デ
ゴザイマスガ、現下ノ事情ニ於テ此法案ヲ
御出シニナルトキニ、ドウ云フ風ニ統制ヲ
シナケレバナラヌト云フ、何カサウ云フ風
ノコトヲ御考ヘニナッテ之ガ出タノデゴザ
イマセウカ、現在ノ生絲ト云フモノノ價格、
其他需要供給ノ點ニ於テ現在デハ多過ギ
ル、或ハ少ナ過ギルトカ云フヤウナコトヲ
多少御考ヘニナッテ此法案ガ出タノデアリ
マセウカ、其邊ハドウデゴザイマス

○政府委員(井野碩哉君) 現在ニ於キマス
ル生絲ノ需給關係カラ見テミマスルト、供
給ノ方面ニ於キマシテハ、米ノ如ク養蠶ニ
付キマシテハ餘リ豐凶ノ差ガアリマセヌ、
無論天候其他ノ點ニ於キマシテ違蠶ノ場合
ニ減收イタスコトモアリマスガ、普通ノ狀
態ニ於テハ大體豐凶ノ差ガ少イノデアリマ
スカラ、從來ハ唯亞米利加ノ需給ニ應ジマ
シテ、ドンノ増産一途ニ進ンデ參ッテ
居ルノデアリマシタガ、一方亞米利加ニ於
キマスル消費ノ狀況ヲ見マスルト、人造絹
絲ガ相當ニ進出シテ參リマシテ、殊ニ亞米

利加邊リノ景氣ノ不況ト云フコトカラ、此數年來消費ガ減退ノ傾向ニゴザイマスカラ、増産一途ニ進ム今後ノ方針ト云フモノハ餘程考ヘナケレバナラス、從テ或ル程度ニ於テ生産ノ統制ト云フコトガ今後必要ニナツテ來ルト思フノデアリマスガ、唯下ノ位ノ數量ニ之ヲ減ラシテ行ツテ宜イカト云フコトハ、年々ノ亞米利加其他ノ消費狀況ニ依ツテ變化ヲ見ナケレバナラスモノデアリ

モ、國家管理ノ際ニ於キマシテ大イニ考慮シテ、養蠶業ノ經營ノ上ニ其理想ヲ實現シテ行キタイト考ヘテ居リマスカラ、數量ノ點ニ於テハ出來ルダケ増産ニ努メテ居リマス、サウシテ尙ホ今後モ消費者側ノ需要關係ヲ能ク見マシテ、サウシテソレニ適應スルヤウ各年ニ於テ生産數量ヲ按排シテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○阿部房次郎君 モウ一ツ伺ヒタイ、是ハ

行ツテ宜イカト云フ見込ハ困難ト思ツテ居リマスケレドモ、大體ノ方針ト致シマシテ、今後ハ原原種ノ製造ニ當リマシテハ出來ルダケ優良ナル品種ニ換ヘテ參リマシテ、サウシテ其生産數量ハ出來ルダケ少クシテ、而モ同ジ勞力ヲ以チマシテ數量ノ多イ物ヲ造ツテ、今日ノ需要ニ應ズルヤウニシタイト云フ方針ノ下ニ進ンデ行キタイ、ソレカラ又一面ニ於キマシテ、原蠶種國家管理ニ致シマスル一ツノ利益ト致シマシテハ、此間中カラ御話申上ゲマシタヤウニ、今後ノ蠶絲業ガ唯亞米利加ノ需要ニ應ズル爲ニ優良品種ノミヲ造ルヨリハ、モット生産費ノ安い、直接ノ纖維ニ代用シ得ルヤウナ品種モ、國家トシテ之ガ普及ニ努メテ置キタイト考ヘテ居リマスカラ、サウ云フ點ニ於テ

チヨット意見ノヤウニナリマスケレドモ、一ツ伺ヒタイノハ生絲ノ輸出統制、生絲ノ絲價ヲ安定サスト云フコトガ、目下ノ大問題ニナツテ居ルヤウデアリマス、ソレニ付テ色々皆サンノ衆議院アタリデモ御説ガ出テ居リマスガ、是ハ最モ必要ナコトデアリマスケレドモ、生絲ノ絲價ヲ安定サスト云フコトハ、先ヅ生産ノ制限ト云フコトニ根柢ヲ置カナイデ、販賣ノ統制トカ、輸出ノ統制ト云フコトデハ、生絲ノ絲價ノ安定ト云フコトハ到底望ミ得ヌト思フノデアリマス、ソコニ於テ、只今御説明ヲ承リマスルト、原原種カラ以テ生産ノ統制ヲシヤウト云フ御考ハ、私至極御尤ナ宜イ御考デアルト思ヒマスガ、原原種ダケデハ生産ノ統制ト云フモノガ十分デヤナカラウカト思フノデアリマスガ、政府ハ生産ノ統制ト云フコ

トヲ必要デアルト云フコトガ御認メニナルナレバ、原原種ト共ニ他ノ色々ノ方法ヲ以テ生産ノ制限ト云フコトヲシヤウト云フ御考ガアルコトト思ヒマスガ、ソレ等ノ點ハ御努メニナル御考ハアリマスカ

○政府委員(井野碩哉君) 生産統制ニ付キ

マシテ、固ヨリ此原原種ノ生産統制ノミヲ以テシテ其目的ヲ達シ得ナイコトハ御説ノ通りデアリマス、我々ノ方ト致シマシテモ、此養蠶經營ノ上ニ於テ養蠶家ノ自覺ヲ俟ツテ生産統制ニ赴イテ行クノガ最モ確實ナル方法デアアル、生産統制ハ御承知ノ如ク、二百萬ノ養蠶家ヲ相手ニシテ居ルノデアルカラ、強制力ヲ以チマシテ統制スルト云フコトハナカ／＼困難ナル實情デゴザイマス、從テ先ヅ第一ニ生産統制トシテハ自主的統制ニ重キヲ置カナケレバナラスト云フ趣旨カラ、先年蠶絲業組合法ト云フモノヲ制定イタシマシテ、其統制ノ下ニ養蠶家ガ自治的ニ一ツノ共同團體ヲ造リマシテ、ソレヲ養蠶實行組合ト稱シテ居リマスガ、此養蠶實行組合ガ更ニ養蠶業組合ト云フ分體ノ組合ニ入リマシテ、其養蠶業組合ガ更ニ府縣聯合養蠶業組合ヲ造リ、ソレガ全國養蠶業聯合組合ヲ造ツテ居ル、ソレガ又更ニ他ノ製絲業、組合製絲、問屋、輸

出業者等ノ各團體ト相俟ツテ、中央機關ヲ造リ、ソレハ日本中央蠶絲會ト云ツテ居リマスガ、是ガ即チ當業者ノ自主的團體デアリマス、此團體ノ下ニ於キマシテ、養蠶實行組合ガ養蠶者ノ共同團體トシテ、生産ニ關スル種々ノ統制施設ヲ行フト云フ建方デアリマス、唯此團體ダケデ十分ノ仕事ガ出來マセヌノデ、本年ハ追加豫算ノ上ニ……此團體ヲ指導シテ、國家ノ蠶絲業行政方針ト、出來ルダケ調和セシムルダケノ指導方針ヲ本年豫算上ニ計上イタシマシテ、衆議院ヲ通過シ、目下貴族院ニ於テ御審議ヲ願ツテ居リマスガ、ソレハ養蠶指導員ト云フモノヲ各養蠶業組合ニ配置シテ養蠶者ヲ指導シテ行ク、是ハ今日非常ニ養蠶經營ノ統制上重要ナル役割ヲ演ズル譯デゴザイマシテ、各養蠶業者モ此點ハ非常ニ要望シテ居ッタノデゴザイマスガ、幸ニ相當金額ノ豫算ガ計上出來マシタノデ、之ニ依ツテ生産統制ノ指導ヲシテ行ケル、主トシテ自主的統制ニ向ツテ進ンデ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○阿部房次郎君 能ク分リマシタ、私ノ質問ハ是デ終リマシタ

○男爵肝付兼英君 只今阿部サンノ御質問

ニ依リマシテ、當局ノ生産統制ニ對スル御

方針ハ大體承リマシタガ、此繭ノ價ト云フモノハ、直接此產繭額ヲ左右スル力ハ私ハ無イト考ヘテ居リマス、ソレハ今日ノヤウニ農村疲弊ノ現狀デアリマスカラ、農家ハ寧ロ安イケレバ安イナリニ、生産ヲ制限ヲセズニ進ムノデヤナイカト云フヤウナコトヲ考ヘラレマス、詰リ農家ノ經濟ニ於テハ利潤ト云フコトデナク、所得額ヲ主トシテ進ムモノデヤナイカ、所得額ト云フモノヲ目標ニシテ進ンデ行クノデヤナイカト云フヤウニ考ヘラレルノデアリマス、其點ハ如何デアリマセウカ、意見ニナリマスケレドモ一應……

○政府委員(井野碩哉君) 今日農家ガ養蠶經營ヲ致シマシテ、ソレニ依ッテ現金收入ヲ得ルト云フコトガ農家ノ非常ニ大キナ強ミニナッテ居リマスガ故ニ、假ニ亞米利加ノ需要ニ變化ガアリマシテモ、之ヲ手控ヘルト云フコトハナカク、困難ナ實情デアルコトハ仰セノ通りデアリマス、唯其生産統制ト申シマシテモ、俄ニ生産制限ヲ數量的ニ行フト云フコトハ困難デゴザイマスガ、昨年ノ如ク少シ亞米利加ノ景氣ガ好ク、繭ノ相場ガ出ルト徒ニ無理ヲシテ増産ニ進ミマス、サウ云フトキニ能ク亞米利加ノ人造絹絲ノ進出セル狀況又需要、亞米利加ノ經濟

車情等ヲ理解セシメマシテ、徒ニ今日増産シテ進ムコトハ少シ是ハ不利デアルト云フ觀念ヲ養蠶家ニ與ヘマスレバ、養蠶家モ無闇ニ増産ヲシナイト云フ利益ハゴザイマスト思ヒマス、昨年ノ如キハ春ニ於テハ約一割、秋ニ於テハ一割二三分ノ増産ヲ致シタノヲ見マシテモ、偶、春ノ相場ガ千圓近クニ上ツタト云フコトガ其因デアラウト思ヒマス、是等ノ事情ヲ見テ居リマシテモ決シテ永續的ノモノデハナイ、一時亞米利加ガ「インフレイション」景氣ノ掛聲ダケ出タノデアリマスカラ、一方人造絹絲ノ關係カラ見テモ、其點ニ於テ懸念ガアッタノデアリマスカラ、極力増産ヲ我ミトシテハセシメナイヤウニシタノデアリマス、併シ其聲ハナカク、養蠶家ニ徹底シマセヌデ、結局増産ニナツタノデアリマスガ、今後ハ相當指導員ナリ其他團體ノ指導統制ニ依ッテ十分ニ理解セシメマシテ、徒ニ増産スルコトハ抑ヘルヤウニシタイト思ヒマスガ、併ナガラ一朝需要ガ減リマシテ或ハ二割制限、三割制限ト云フヤウナコトヲ致シマス場合ニハ、是ハ餘程ムツカシイ問題デアラウト考ヘテ居リマス、唯ソレモ能ク養蠶家ノ方デ其當時ノ經濟事情ヲ理解シテ呉レマシテ、サウシテ掃立テ桑葉ノ摘葉ト云フ點ニ於テ考慮ヲ加ヘマスレ

バ、相當ノ數量制限モ出來ナイコトモナイ、現ニ昭和六年ニ於キマシテハ相當ノ數量制限モ自主的ニ出來タヤウナ實例モゴザイマスカラ、ヤリ様ニ依ッテハ決シテ出來ナイモノデハナイト思ッテ居リマスガ、困難ナ點ダケハ御意見ノ通りト考ヘテ居リマス

○男爵足立豐君 矢張り生産制限ト云フ所

マデ參リマスレバ政府委員ノ仰セノ通りデアリマスガ、何レニシマシテモ、生産統制ハ今御説ノヤウニ増産ニナラナイヤウニ現狀維持ニ努メルト云フヤウナコトデアリマスガ、唯私ノ當局ニ望ミマス點ハ、農家ヲシテ徒ニ生絲ノ相場ニ依リマシテ養蠶業ヲ投機的ニ飼育シナイヤウニ其點ヲ十分御指導ヲ願ヒタイト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、ソレハ過去ニ於テ屢、繰返シテ居リマスヤウニ、農家ハ生絲ノ相場ガ下ツタト云フコトニナリマスレバ、直グニ桑ヲ抜イテシマウ、又生絲ガ値ガ出タト云ッテ、桑ヲ植エルト云フヤウナ狀態ハ、屢、私モ實見シテ居リマスノデゴザイマスガ、是ハ他ノ事柄ト違ヒマシテ、桑ニシテモ三年前乃至五年先デナケレバ十分ノ收量ヲ得ルコトガ出來ナイ、サウ云フ所ノ植物デアリマスノデ、ソレニ依ッテ投機的ニ養蠶ヲ行フト云フヤウナコトガ無イヤウニ、是非其點ニハ御注

意ヲ願ヒタイト思ヒマス、桑園ノ改植或ハ蠶種ノ方ノ統制ニ依リマシテ、生産制限ヲ或ル程度マデハ導クコトガ出來ルト考ヘルノデアリマス、其點ニ付キマシテハ十分ニ御考慮ノ上御指導ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス

○委員長(侯爵大隈信常君) 如何デゴザイ

マセウ、モウ御質問モ大分オアリニナッテ、モウゴザイマセヌデセウカ

○男爵足立豐君 モウ一點伺ッテ置キタイ

ノデアリマスガ、ソレハ附則ニ上ボッテ居リマスル所ノ蠶絲業法中ノ數點ニ改正ヲ加ヘラレルコトニナリマスガ、是ハ此原蠶管理法成立當然ノ改正ニナル、斯ウ云フコトニ了承シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(井野碩哉君) 左様デゴザイマ

ス、其通りデゴザイマス

○子爵片桐貞央君 此法案ガ實施サレマシ

テ、後五年目ニ完全ニ實施サレルヤウニナルノデスガ、其間今年度カラ費用ガ段々増加シテ行クノデヤナイカト思ヒマスガ、十三年度ハドウ云フ費用ニナリマスカ

○政府委員(井野碩哉君) 昭和九年度ノ要

求ハ大藏省當局ニ於キマシテ明瞭ニ確定シタノデアリマスガ、後年度ニ於キマシテハ、マダ内容ガ十分ニ詳細ノ點迄ノ確定ガゴザ

イマセヌノデ、詳細ノ事ヲマダ申上ゲル譯ニハ行キマセヌガ、總體金額ト致シマシテハ、昭和九年度ニ於キマシテ四十九萬六千圓、ソレ以後ニ於キマシテハ大體六十萬圓ヲ年々計上スルコトニナツテ居リマス、從テ今御話ノ如ク、設備モ段々ト擴充シテ參ルノデゴザイマスカラ、初年度、次年度アタリハ主トシテ設備ヲ造リマスコトニ重キヲ置キ、其後ハ段々ト製造數量ノ方ニ力ヲ入レテ參リマスノデ、其方ニ金ガ要ル、總體金額ハ大體六十萬圓程度、後年度ニ於テハ續クモノト御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(侯爵大隈信常君) モウ御質問ゴザイマセヌカ、ゴザイマセヌケレバ討論ニ入リタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵大隈信常君) 然ラバ此原蠶種管理法案ノ各條ニ入リマセヌデ、一括シテ討論ニ入ッテ異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵大隈信常君) ソレデハ之ヲ一括シテ議題ニ供シマス

○長野忠次君 此法案ヲ拜見シマスルノニ、條文ハ極メテ簡單デアリマスガ、但シ其關ハル所ガ非常ニ重大デアルガ爲ニ、此

第一回、第二回、第三回、第四回ヲ重ネテ、各委員カラ非常ニ丁寧ナル御質問ガアリマシテ、政府委員ハ之ニ對シテ詳細ノ御答辯ガアリマシタ爲ニ、此法案ノ内容ニ付テ相當詳細ニ了知スルコトガ出來マシタノデアリマス、是ハ質問演說ノ際ニモ度々現レマシタ通りニ、目下ノ現狀ガ此儘ニ經過イタシマシテハ、我が日本ノ重要産業タル所ノ蠶絲業ノ將來ノ運命ガ極メテ危イモノト認メルガ爲ニ、根本方針ト致シマシテ、品種ノ向上竝ニ統制ヲ圖ランガ爲ニ、原蠶種國家管理法案ヲ以テ、此目的ヲ達成スルコトニシナケレバナラスト思フノデアリマス、最モ原蠶種ノ非常ニ必要ナルモノデアルガ爲ニ、從來國ノ方デ機關ヲ認メテ十分ニ御研究ニナルト同時ニ、民間ノ當業者ニ於キマシテモ、非常ニ熱心ナル研究ヲ遂ゲマシテ、其效果ハ是迄實際上ニ現レテ居ル所ノモノガ極メテ偉大デアアルノデアリマス、此原蠶種ヲ國家デ管理スルガ爲ニ、民間ノ是迄ノ努力ヲ萬一阻止スルヤウナコトガアリマシテハ、是ハ從來ニ於キマシテハ、民間ノ研究ガ斯業ノ進歩ニ非常ナル貢獻ヲシテ居タト云フ所ノ事實ト併セ考ヘテ見マシテ、此點ハ大イニ注意スベキ所デアルト思フノデアリマス、ソレカラ此蠶絲業ノ前途ニ對シマシ

テハ、單ニ品種ノ向上ト統制ニ依ルノミナラズ、度々皆様ノ御質問ノ中ニ現レマシタ通りニ、相當ノ生産ノ統制、制限ヲ加フルニアラザレバ、今日需要國ノ此生絲ニ對スル需要ガ、從來ノ通りニ増産一方ヲ以テ臨ンデハ宜シクナイト云フ場合ニ於キマシテハ、生産ノ統制竝ニ制限ト云フモノガ有效ニ實行スルコトガ出來ナケレバ、此目的ヲ達スルコトガ極メテ困難デアルト思フノデアリマス、更ニ進ンデ申シマスレバ、一方ニ品種ノ向上統制ヲ行ヒ、進ンデ生産ノ制限ヲ行フト雖モ、最モ重大ナル關係ヲ有スル所ノ生絲ノ販賣統制ヲ行フニアラザレバ、今日ノヤウナル暴騰若クハ暴落ニ依ッテ、此業ノ運命ヲ非常ニ危險ニ導クヤウナコトデハ、此蠶絲業ノ安定ヲ圖ルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、此原蠶種國家管理法案ノ決定ト同時ニ、生絲ノ販賣統制ト云フコトニ向ッテ相當ニ施設ヲ實行シテ、絲ノ價格ノ安定ヲ圖ル、例ヘバ絲ノ價格ガ安クツテモ、安心シテ農家ガ此業ヲ營ミ得ルヤウナコトニナラナケレバナラスト思フノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、今日日本會議ニ現レマスル所ノ生絲販賣統制法案ノ實行ト相俟ツテ、此原蠶種國家管理法案ノ運用スル其目的ヲ達シ得ルモノダト考ヘルノデ

アリマス、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ原蠶種國家管理法案ト云フモノハ、蠶絲業ノ今日ノ安定ヲ圖リマスルガ爲ニ、根本方策トシテ極メテ重大ナル一ツノ之ハ施設デアルコト疑ヲ入ルルノ餘地ガ無いノデアリマス、但シ先般私ハ質問ノ際ニ申上ゲマシタ通りニ、品種ノ向上ト統制トヲ十分ニ其目的ヲ達成センガ爲ニハ、民間ノ研究ト、國ノ品種ニ對スル御研究ト相俟ツテ、優良原種ノ製出ニ努メナケレバナライ、此點ニ於テハ、此法案ノ中ニ現レテ居リマスル所ノ審査會ト云フモノノ活用、實際ノ運用ガ其宜シキヲ得ナケレバ、此法案ヲ施行サレマスル所ノ十分ナル目的ヲ達スルコトガ出來ナイト存ズルノデゴザイマス、此審査會ノ運用ガ宜シキヲ得テ、常ニ國ト民間トノ研究ヲ更ニ一層促進イタシマシテ、品種ノ向上ト統制トヲ圖リ、一方ニ於キマシテ相當ナル所ノ生産ノ統制ヲ加ヘ、更ニ生絲ノ販賣統制ニ依ッテ、生絲價格ノ安定ヲ圖ルコトガ出來マシタナラバ、今日危殆ニ瀕シテ居ル所ノ蠶絲業ノ將來ニ向ッテ非常ナル力ヲ添ヘ得ルモノデアルト信ズルノデアリマス、大概各委員ノ方ニ御質問ニ依ッテ此要領ハ盡キテ居ルト思ヒマスカラ、餘リ長ク時間ヲ要スルコトニ致シマセズシテ、私ハ

此案ノ必要ナル所ノ性質ヲ認メマシテ、本委員會ニ於テ滿場ノ御賛成ヲ得テ、決定ニナランコトヲ切ニ希望スルモノデアリマス

○委員長(侯爵大隈信常君) 別ニ御議論ハアリマセヌカ……ナケレバ採決ニ致シタイト思ヒマス、本案ヲ可決シテ御異議ゴザイマセヌデスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(侯爵大隈信常君) 全會一致可決ニナリマシタ、今日ハ午後一時半カラ又開キマス、ソレマデ休憩ヲ致シマス

午前十時五十三分休憩

午後二時五十五分開會

○委員長(侯爵大隈信常君) ソレデハ午前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、是カラ只今付託ニナリマシタ輸出生絲販賣統制法案ニ付キマシテ會議ヲ開キタイト思ヒマス、大臣ガ御出デノ答デアリマスガ、丁度衆議院デ米穀法ノ會議ガアリマスノデ、已ムヲ得ズ御出ガアリマセヌノデ、政務次官ノ御説明ガアリマスカラ御願ヒ致シマス

○政府委員(子爵織田信恒君) 輸出生絲販賣統制法案提出ノ理由ヲ御説明イタシマス、現今我國ニ於テ生産セラレマスル生絲ノ大部分ハ海外ニ於テ消費セラレ、直取引ハ主

トシテ横濱及神戸兩港ノ輸出生絲市場ニ於

テ行ハレルモノデアリマスカラ、同市場

ノ販賣組織取引方法ノ如何ハ、我が蠶絲界

ニ取りマシテ極メテ重要ナ關係ヲ有スル次

第デアリマス、然ルニ輸出生絲市場ノ販賣

組織及取引方法ノ現狀ヲ見マスルニ、之ニ

關スル諸種ノ制度未ダ完カラザルガ爲メ、

兎角當業者間ノ統制ヲ缺キ、取引ノ圓滑公

正ヲ期スルニ遺憾ガアルノデアリマスノミ

ナラズ、延イテ絲價ノ安定ヲ阻害スル場合

モ少クナイノデアリマス、依テ之ガ改善統

制ヲ圖リマスコトハ、蠶絲業ノ進展上極メ

テ肝要トスル所デアリマス、茲ニ於キマシ

テ、政府ハ昨年九月以來輸出生絲販賣統制

調査會ヲ設置イタシマシテ、輸出生絲販賣

統制ノ方策ニ關シ諮問イタシマシタノデア

リマスガ、最近同調査會ニ於キマシテ、取

敢ズ急施ヲ要スル方策ノ答申ガアリマシタ

ノデ、政府ニ於キマシテハ右答申ニ基キ、

本法案ヲ提出スルコトニ相成ツタ次第デア

リマス、本法案ハ輸出生絲ノ販賣組織及取

引方法ノ改善統制ヲ圖ルノ趣旨デアリマシ

テ、其大要ヲ申シマスレバ、第一ハ輸出生

ス生絲問屋ト云フモノガ多數ニ存在イタシ

テ居リマスガ、其實情ヲ見マスルニ、生絲

取引數量ノ極メテ少量ニ止マル者ガ多クヲ

占メテ居ルノデアリマス、然ルニ生絲ノ販

賣ガ斯ノ如ク多數ノ問屋ニ依ッテ取扱ハレ

マスコトハ、買方タル少數有力ノ生絲輸出

商ニ對シマシテ、賣方ノ地位ヲ薄弱ナラシ

メル所以デアリマシテ、市況ノ如何ニ依リ

マシテ、動モスレバ不當ニ賣急ギノ弊ヲ生

ジマスノミナラズ、取引ノ公正モ缺クニ至

ルノ虞レガアルノデアリマス、依テ輸出生

絲問屋ニ付テ免許制度ヲ設ケマシテ、問屋

ノ整理ヲ致シマス共ニ、將來其簇生ヲ防

止スルコトヲ致シマシタ、第二ハ輸出生絲

登録制度ヲ設クルコトデアリマス、前ニ申

述ベマシタ如ク、輸出生絲市場ニ於キマス

ル取引ハ、主トシテ製絲業者ノ委託ヲ受ケ

マシタ所ノ輸出生絲問屋ト生絲輸出商トノ

間ニ行ハレテ居リマスカラ、其取引内容ヲ

公明ニ致シマスコトハ、販賣委託者タル製

絲業者ノ爲ニ必要デアリマス、依テ輸出生絲登

録制度ヲ設ケント致シマシタ次第デアリマシテ、

公ケノ機關ニ於キマシテ、輸出生絲登錄原

シテ、當該生絲ノ販賣委託者タル製絲業者

等ヲシテ、取引ノ真正ノ内容ヲ知ルニ便ジ、

尙ホ之ニ依リマシテ、一般市場ニ對シ正確

ナル生絲取引數量及標準値段ヲ發表シ得ル

コトニ致シマシタ、第三ニ主務大臣ガ輸出

生絲販賣統制上ニ必要ナル命令、又ハ處分

ヲ爲シ得ル規定ヲ設クルコトニ致シマシ

タ、此種ノ規定ハ現ニ製絲業法、及ビ蠶ニ

本會議ニ提出イタシマシタ原蠶種管理法

ナドト同様ナ設ケデアリマシテ、蠶絲業

非常ノ時ニ於キマシテ、政府ハ必要ニ應ジ

當業者ノ自治的統制ト相俟ッテ、國家權力ニ

依リ販賣統制ノ完璧ヲ期シ得ベキ措置ヲ取

ルコトニ致シマシタ、以上ハ本案ノ要旨デ

アリマシテ、之ニ依リマシテ一層輸出生絲

市場ヲ健全ニシ、販賣組織ヲ強化シ、取引

ノ圓滑公正ヲ圖ルニ相當效果ガアリマス上

ニ、絲價ノ安定ニモ資スル所少カラヌモノ

ト信ズル次第デアリマス、尙ホ衆議院ニ於

キマシテ、本法案ノ標題ヲ輸出生絲取引法

案ト修正セラレタノデアリマスガ、右ハ本

法案ノ趣旨及運用上別段支障ナキモノト認

メマスカラ、政府ニ於キマシテモ同意イタ

シタク考ヘテ居リマス、何卒御審議ノ上御

可決アラムコトヲ希望イタシマス

○男爵岩村一木君 本法案ハ輸出生絲販賣

統制調査會ノ答申ニ基キマシテ、政府ニ於キマシテ立案サレタモノト承リマシタガ、其大要ハ輸出生絲問屋ノ免許制度ヲ設クルコト、竝ニ輸出生絲登録制度ヲ設ケルト云フコトデアリマスガ、本法ニ依ッテ假ニ政府ノ仰シヤルヤウニ生絲ノ取引ヲ圓滑ニ、生絲ノ値ガ安定スレバ幸デアリマスガ、輸出登録原簿等ニ生絲ノ内容賣買價格ヲ登録スルトカト云フヤウナ些細ナ事マデ記録スルト云ヒマスコトハ、取引者ニ從來ノヤウナ生絲ノ取引ノ味ガ薄ク、即チ商賣ノ甘味ガ無クナリマシテ、ソレガ爲ニ輸出量ガ著シク減ズル虞レハゴザイマセヌデセウカ、生絲生産ノ約七割ガ輸出サレ、主トシテ北米ヘ出ルト云フコトデアリマスガ、輸出三割制限ノトキニデモ、ソレガ爲ニ生絲ノ値段ガ下落シ、且ツ國內ノ絲價ニモ非常ニ影響ガアツタト云フコトデアリマスルノデ、輸出ガ出來ズ、國內ニ品物ガダブツクト云フコトデ、是デ絲價ガ脅カサレルノニ搦テテ加ヘテ、最近ノヤウニ人造絹絲ニ侵蝕サレルトキニ當リマシテ、輸出生絲ノ限ラズ、内地物ノ生絲ノ値ナド不安ヲ來シハ致シマセヌカ、延イテハ内外ノ需要數量ガ減ジハシマイカ、是等ノ點ニ付テ御答ヲ先ヅ伺ヒタイノデアリマス、又原蠶種管理委員會ニ於テ、

生絲ノ生産費ノ八割ハ繭ニ依リ、繭ノ生産費ノ三四割ハ生絲ノ値段ニ依ル、ソレガ故ニ生絲ノ生産費ノ低下ノ爲ニハ、桑園ノ肥料等ニ至ルマデ相關聯シテ考慮ニ入レテ、農家ノ主タル副業ノ養蠶ヲ安定サセ、農家ノ懷工合ヲ宜クスルト云フコトヲ伺ヒマシタガ、此方デハ相關聯スルト云ヘバ言ヘマズルガ、生絲取引者ノミガ或ハ利益ヲ受ケテ、即チ商人ノミガ利益ヲ受ケテ、農家農村ハ之ニ比例スルヤウナ利益ヲ受ケルコトガ薄イヤウニ思ハレルノデアリマス、此點ニ付テモ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、又蠶絲業法モアリ、原蠶種管理法ガ出來ルト云フコトニナリマスナラバ、政府ハ品物ノ多ク出來タ結果ニ依ッテ、統制ヲ爲サルト云フコトバカリデナシニ、一歩進ンデ生産ニ於テモ統制、即チ根本ニ於ケル生産制限ヲ爲サレタラドシナモノデアリマセウカ、ソレニハ今ガ非常ニ好イ時機ノヤウニ思ヒマスガ、之ニ關シテ何か御考ハゴザイマセウカ、尙ホ是ハ條文ニ入リマスガ、轉出生絲登録原簿ハ何處ヘ御備ヘ附ケニナル御考デゴザイマセウカ、ソレカラ本法實施期ハ勅令ニナッテ居リマスガ、若シカ可決デモ致シマシタナラバ、何時頃カラ實施ナサレル御考デゴザイマセウカ、

ソレカラ又第七條ノ公益ヲ害ス云々ト云フコトハ、ドウ云フ風ニ解釋ヲ致シマシタラ宜シウゴザイマスガ、ソレ等ヲ御聽カセ願ヒタイト思ヒマス、以上御伺ヒ致シテ置キマス
○政府委員(井野碩哉君) 今岩村男爵ノ御質問、七點程ゴザイマスガ、先ヅ第一ノ、此法案ニ依ッテ轉出生絲ノ登録制度ヲ布ク場合ニ於テ、登録ニ於テ、取引業者ノ取引ヲ公ケノ機關ニスル爲ニ、取引ノ甘味ガ無クナリハシナイカ、其爲ニ生絲取引ノ圓滑ヲ阻害シ、昨年來ノ絲價ノ狀況ニ依リマシテ、今日行ハレツツアル三割ノ出荷制限ニ對シテスラ、國內ニ繭ガ停滯ヲシテ、其爲ニ繭價ノ暴落ヲ來ス惧レガアルノデハナイカ、其制度ノ爲ニサウ云フ懸念ガ起リハシナイカ、ドウカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマスルガ、登録制度ニ依リマシテ、問屋及輸出商ノ取引ヲ登録イタシマスコトハ敢テ商機ノ秘密ヲ公ケニシテ、其爲ニ取引ヲ阻害スルト云フコトハナイコトト考ヘテ居リマス、ト申シマスノハ、今日横濱、神戸ニ於キマス取引ノ實情ヲ見テ居リマシテモ、往事ノ如キ弊害ハ段々ト薄クナッテ參ッテ居リマシテ、實際ニ於テハ委託者タル製絲家ガ問屋ニ賣買ヲ委託ヲシテ居

リマシテ、ソレニ依ッテソレヲ仲立又ハ取次ニ依リマシテ輸出業者ニ賣ッテ居ルノデアリマスガ、其間ノ價格ト云フモノハ、大體バ今日ハ公明ニ行ハレテ居ルノデアリマスガ、併シ今日問屋ノ中ニモ本當ニ資力ノ薄イ弱小ノ者ガゴザイマシテ、絲價ガ暴落スルヤウナ場合ニハ、其間取引ノ上ニ色ミノ細工ヲスルト云フコトモナイデハナイノデゴザイマス、從テ製絲家ノ方カラ申シマスト、其問屋ト輸出業者ノ賣買ノ關係ガ明ニナリマスコトガ、最モ望マシイ實情デアリマスガ、今日ハ之ヲ公ケニスル何等ノ制度ガ無い、從テ製絲家タル委託者ヲ保護シマスル趣旨ニ於テ、此登録制度ヲ設ケマシタ一ツノ理由ニナッテ居ルノデアリマシテ、此登録シマシタ賣買ノ取引ノ内容ト云フモノハ、一般ニ之ヲ示スノデハアリマセヌノデ、單ニ利害關係人ノ請求ノアリマシタトキニノミ之ヲ知ラス、而セ登録事務ニ從事シテ居ル者モ、國家ノ機關トシテ之ニ從事スルノデゴザイマスカラ、其機密ハ決シテ漏洩ヲシナイ、漏洩シナイヤウニ努メル、漏洩シタ場合ニ本法ニ重キ罰則マデ設ケテ、之ヲ取締ッテ居ル次第デゴザイマス、從テ今御話ノヤウニ、其爲ニ取引ノ圓滑ヲ害スルト云フコトハナカラウト考ヘテ居リマ

ス、第二ノ點ハ、此法案ニ依ッテ生絲取引業者ハ利益ヲ受クルガ、生産業者ハ何等ノ利益ヲ受ケヌデナイカト云フ御尋デゴザイマスガ、本法案ニ依リマシテ輸出市場ニ於キマス生絲ノ取引方法ト、取引組織ヲ改善スルコトニ依リマシテ、從來兎角横濱、神戸兩市場ニ於テ起リマス不自然ナル價格ノ低落ヲ幾分ナリトモ、此改善ニ依ッテ防止出來ルモノト斯ウ考ヘテ居リマス、從來ハ絲價ガ非常ニ下ッテ參リマシヤウナ場合ニ、弱小間屋ガ自己ノ資力ノ薄弱カラ兎角賣逃ゲルヤウナ傾向ニ向ヒマスノデ、又一面ニ於テハ、輸出業者ガ非常ニ少イガ、間屋ノ方ハ八十數軒モアルト云フヤウナ譯デ、賣買關係カラ申シマスト賣手ガ非常ニ多クテ、買手ガ少イ、勢ヒソコニ取引ノ強弱關係カラ申シマシテ、絲價ガ弱クナルト云フ弊害ガ之ニ依ッテ、今度ノ免許制度ニ依ッテ出來ルダケ弱小間屋ヲ整理シマスコトニ依ッテ其弊害ガ幾分デモ防止スルコトガ出來マスレバ、絲價ガ弱クナリ金融ヲ阻止スル、從テ絲價ガ或ル程度ニ於テ不自然ノ暴落ヲ阻止出來マスレバ、ソコニ生産者トシマシテ、繭價ノ上ニ影響スル所ガ大キイノデアリマスカラ、生産者ニモ得ガ行クト云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、本法案ハ單ニ取

引業者ノ利害ノミヲ考ヘテ立案サレタモノデナイノデゴザイマス、殊ニ十條ノ統制命令ガ主務大臣ニ留保サレテ居リマスガ、是等モ我國蠶絲業ノ非常時ノ場合ニ於キマシテ、生産者タル養蠶業者、製絲業者竝ニ間屋及輸出業者ノ各業者ニ涉リマシテ、一ツノ自治的統制ニ依ッテ日本ノ蠶絲業ヲ或ル程度護ッテ行カウト云フ場合ニハ、從來ニ於キマシテハ製絲業法ニ依ッテ、製絲業者ニ對スル統制命令ガゴザイマシタガ、此度原蠶種管理法ニ依リマシテ、又蠶絲ニ付キマシテノ統制命令ハ出來マシタガ、輸出部門ニ於キマスル統制命令ガ缺ケテ居ッタノデアリマスガ、此度ノ立案ニ依リマシテ其點ニモ規定ヲ設ケマシタ譯デアリマスカラ、從テ之ニ依リマシテ、一朝ノ場合ニ生産部門ガラ販賣部門ニ互リマシテ、一ツノ統一シタル所ノ國家命令ガ出シ得ル權限ガ留保出來マス、其意味ニ於キマシテモ、生産者ニ對シマシテ或ル程度ノ利益ヲ與フルコトト考ヘタ次第デゴザイマス、第三點ノ、單ニ販賣部門ニ於ケル統制ダケデハ不十分デアッテ、寧ロ生産統制ガ必要デナイカ、殊ニ今日ハ生産統制ヲ行フ上ニ於テ、最も必要ナル時機デアルト考ヘルト云フ御尋デゴザイマスガ、私共モ蠶絲業全般ニ互リマシ

テ、今日ノ狀態、即チ人造絹絲ノ斯ノ如ク脅威セル進步ヲ見マシタコトト、又亞米利加等ニ於ケル經濟事情等ニ考ヘマシテ、今後ノ蠶絲業ト云フモノハ、出來ルダケ各部門ニ互ッテ統制施設ヲ行ッテ行カニヤナラス、斯ウ考ヘテ居リマスガ故ニ、生産部門ニ於ケル統制ト云フコトモ、出來ルダケ今後ハ努メテ行カナケレバナラスト云フ風ニ考ヘテ居リマス、唯生産統制ト云フ問題ハ、今朝程モ原蠶種ノ委員會ノトキニ申上ゲマシタヤウニ、「ヴイスコース」其他二三ノ會社ノ行ッテ居リマス人絹ノ如ク、生産者ノ數モ少ク、資本モ大デアリマス場合ニハ、是ガ統制ヲ行フコトモ容易デゴザイマスガ、二百萬ノ養蠶家ト、三千有餘ノ製絲工場ヲ持ツ製絲業者ノ間ニアッテ、此生産統制ヲ行フト云フコトハナカ／＼容易ナラス問題デアリマスガ故ニ、從來カラモ先ヅ主トシテ自治的統制ニ依ッテ、其間ノ生産統制ヲ圖ラシメテ行クト云フ意味カラ、養蠶者ニ取リマシテハ養蠶業組合、養蠶實行組合ト云フ制度ヲ設ケ、又製絲業者ニ取リマシテハ製絲業法ニ依リマシテ、一面ニ免許制度ヲ布キマス共ニ、又蠶絲業組合法ニ依ル製絲業組合ト云フモノヲ認メマシテ、自治的ノ統制ヲ圖ラセルト云フヤウナ風ニ、

主トシテ團體統制ニ依ル所ノ自治的統制ニ今日テハ向ッテ居ルノデアリマス、之ニ加フルニ本年追加豫算ニ於キマシテ、養蠶ニ於キマスル指導員ノ助成費ヲ新規ニ計上イタシマシタ、之ニ依ッテ生産統制ヲ出來ルダケ政府指導ノ下ニ導イテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマスガ、併シ實際ノ其年々ノ生絲ノ需要供給關係ニ依リマシテ、或ハモット徹底的ナル生産ノ制限マデ行クヤウナ必要ガアリマス場合ニハ、又別途ノ方策ヲ茲ニ考ヘナケレバナスコトト考ヘル次第デゴザイマス、第四點ノ、登錄原簿ヲ備ヘ附ケル場所ハ何處デアルカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ主トシテ勅令ニ於テ其制度ヲ決メルノデゴザイマスガ、今日マデ當局トシテ考ヘテ居リマス方法ハ、一ツノ登錄所ト云フ特別ノ機關ヲ設ケマシテ、ソレハ横濱、神戸ノ生絲検査所ノ中ニ其事務所ヲ設ケマシテ、ソコニ原簿ヲ備ヘ附ケタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、第五點ノ、施行期日ハ何日カラカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ大體今ノ所デハ七月一日カラ施行シタイト考ヘテ居リマス、最後ノ第七條ノ「公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムル」即チ輸出生絲間屋ノ所爲ニシテ公益ヲ害シ若

クハ害スルノ虞レアリト云フ場合ハ、ドウ云フ場合カト申シマスレバ、是ハ輸出生絲問屋ノ行為ガ委託者ノ趣旨ニ反シテ非常ニソコニ不正ナルコトヲ行フ、又ソレガ延イテ公益ヲ害スル場合デアリマスとか、單ニ公益上必要ト云フヨリハ、公益上ノ行為自體ガ存在ヲ許シ得ザルモノ、即チ公益ヲ害スル程度ニ至リマシタ場合各ニ其免許ヲ取消スナリ、認可ヲ取消スト云フヤウニ考ヘテ居ル譯デゴザイマス、是等ノ監督經營ハ他ノ業法ニモ同ジ様ナ趣旨ノ規定ガゴザイマスノデ、其立法趣旨ニ倣ヒマシテ此規定ヲ設ケマシタ次第デゴザイマス

○男爵岩村一木君 餘程、政府委員ノ御説明ニ依リマシテ能ク分リマシタガ、序デアリマスカラ、是ハコチラデ調べレバ譯ノ無イコトデアリマセウケレドモ、現在ノ養蠶、生絲、蠶種等ニ關シテノ執行中ノ法律ノ施行ノ年月、決メタ年月、是等ニ關スル色ミノ調査會ガアルヤウデアリマスカラ其名前、是ダケヲ次回マデニ御知ラセ願ヘレバ幸ト思ヒマス

○政府委員(井野碩哉君) 畏マリマシタ
○子爵大岡忠綱君 本法ノ第三條ノ第二項ノ「免許ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトニナッテ居リマシテ、

其規定中ニ規定スベキ事項ノ中ノ免許ノ標準ト云フモノガゴザイマスノデスカ、其標準ノ點ニ付テチヨット御尋ネシタイノデゴザイマス、現在ノモノニ付キマシテハ、附則ノ第二項ニ定メラレテゴザイマスノデスケレドモ、是ハ矢張り此取扱ニ數量トカ何トカ、サウ云フモノヲ標準トシテ定メルノデゴザイマセウカ、其點ト、ソレカラ五箇年後ニ此標準繭ノ問屋ト云フモノガ尙ホ存續サレルカト思ヒマスガ、其場合之ニ對スルドウ云フ御處置ニナリマスノデスカ、或ハ合併トカ何トカサウ云フ方法ヲ執ラレマスカ、其二ツノ點ニ付テ……

○政府委員(井野碩哉君) 其第三條ノ免許ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ定ムト云フ規定ノ内容ト致シマシテ、免許ノ標準ヲ命令ニ依ッテ規定スルノデゴザイマスガ、其標準ハ何處ニ置クカト云フ御尋デゴザイマサガ、大體今日マデ考ヘテ居リマスル所デハ、取扱數量ト資産ヲ標準ニシタイト思ヒマス、取扱數量ハドノ位ノ程度ノモノヲ基準ニスルカト申シマス、其問屋ガ一年ニ於キマシテ約五千俵以上ヲ扱フ者ニ限リタイト思ヒマス、資産ニ付キマシテモ、流動資産二十萬圓以上ノ者ニ限リタイト考ヘテ居リマス、ソレ以下ノ者ハ出來ルダケ免許

イタシマセヌ方針デゴザイマス、又附則ニ付キマシテ、ソレ以下ノ標準ノ問屋ハ五年後ニハドウスルカト云フ御尋デゴザイマスガ、五年後ニハ他ノソレ以下ノ標準ノ問屋ハ存續ヲ許サナイ譯デアリマシテ、五年内ニ出來ルダケソレ等ノ問屋ニ合併ナリ、其他轉業ヲセシメマシテ、サウシテ五年後ニハ此資格以上ノ問屋ダケヲ殘シタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○子爵大岡忠綱君 サウシマス存續ヲ許サナイ所ノ弱小ノ問屋ニ對シテ、政府トシテハ別ニ積極的ニ合併トカ何トカ、サウ云フ御處置ハ執ラヌノデスカ

○政府委員(井野碩哉君) 五年間ノ間ニ出來マスレバ、サウ云フコトヲサシタイト思ッテ居リマスケレドモ、併シ積極的ニ政府ガ援助ヲスルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌ、唯御承知ノ如ク、今日小サイ問屋ト云フモノハ單ニ店舗ヲ持ッテ、電話ヲ引キ傭人二三人ヲ置イテ居ル程度ノモノデゴザイマスカラ、他ノ業態ノ如ク固定的設備ト云フモノモゴザイマセヌシ、出來マストキモ容易デアリマス共ニ、他ニ變リマスコトモ困難デナイノデアリマスカラ、斯ウ云フヤウナ程度ニナッテ居リマスレバ、自然ニ轉業ナリ、合併ガ起ルト云フヤウニ考ヘテ

居リマス

○阿部房次郎君 第十條ノ「主務大臣ハ輸出ノ目的ヲ以テスル生絲ノ賣買取引若ハ其ノ仲立ヲ爲ス者又ハ生絲ノ輸出ヲ爲ス者ニ對シ生絲ノ販賣ノ統制上必要ナル事項ヲ命シ又ハ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得」是ハドンナ必要ガアルノデス、「必要ナル事項ヲ命シ又ハ必要ナル處分」ト云フノハ、ドンナ事ヲ豫想サレテ居リマスカ

○政府委員(井野碩哉君) 十條ノ命令ナリ處分ハ大體蠶絲業ノ非常時ニ於キマシテ、當業者ガ自治的ニ販賣方面ニ於テ統制施設ヲ行フト云フ場合ニ、其自治的施設ヲ以テシテハ、十分ニ效果ヲ全ウシ得ナイト云フ種々ノ場合ガアリマスガ、サウ云フ場合ニハ、國家ガ國家權力ニ依リマシテ、ソレヲ防禦シテ行クト云フ趣旨カラ此規定ヲ設ケタノデアリマシテ、必ズソレノミデナクシテ、其他必要ナ場合ニ積極的ナ施設スル場合ガナイトモ限リマセヌガ、原則トシテ今申シマシタヤウナ場合ニ行フ、例ヘバドンナ場合カト云フ例ヲ申上ゲテ見マス、輸出生絲問屋ニ對シテ、輸出生絲荷受制限ニ關スル事項ヲ政府ガ命ズル、即チ横濱、神戸ニ於キマシテ問屋輸出業者ガ一定ノ數量ヲ……製絲家カラ受ケマスル輸出生絲ノ數

ヲ……製絲家カラ受ケマスル輸出生絲ノ數

量ノ荷受ノ制限ヲスルト云フコトガ必要デ

カ、如何デスカ

アルト云フ、ソレガ絲價ヲ維持スル上ニ於

テモ是非必要デアルト云フコトガアル場合

ニ、自治的ニサウ云フ決議ニ依ッテ行ヒマス

場合ニハ、主トシテ蠶絲業ニ關シマスル中

場合ニハ政府ガ援助スル、又輸出生絲ノ賣

買ヲ爲ス者ニ對シマシテ、一定價格以下ノ

取引ヲ禁止スル、即チ賣止メヲ致シマスルヤ

ウヲ必要ガ起リマシタ場合ニ、ソレニ對シ

テ國家ガソレニ違反セシメナイ爲ノ命令ヲ

出ス、又ソレ以上ノ御尋ノヤウナ場合ニ於

キマシテ、生絲ノ直輸出ヲ爲ス者ニ對シマ

シテ、其直輸出ヲ認メルコトニ依ッテ、以上

ノ實行行爲ヲ缺クル所ガゴザイマスレバ、

或ハ輸出數量ニ制限スルト云フヤウナコト

モシテ見タイ、又輸出生絲ノ出荷又ハ荷受

制限ノ數量ヲ確保イタシマス爲ニ、必要ア

ル場合ニ於キマシテハ之ニ違反シタ生絲ニ

付キマシテハ、生絲検査所ノ検査ヲ爲サナ

イト云フコトモ出來ルヤウニシテ見タイト

云フ風ニ考ヘテ居リマス

○阿部房次郎君 只今承リマス、場合ニ

依ルト國家ガ隨分強イ權力ヲ以テ、サウ云

フ營業ニ立入ルヤウナコトニナリマスレバ、

サウ云フヤウナ場合ニハ何カ諮問機關デモ

御設ケニナッテ、ソレニ諮問シテオヤリニナ

ルノデアリマセウカ、サウデハナイノデス

存ジマスケレドモ、此法案ダケデハ餘リサウ

云フコトニ對シテ大イナル期待ガ持テナイ

ノデヤナイカト云フヤウナ、私共通覽イタ

シマシテ、氣ガスルノデアリマス、少シク

意見ノヤウニナリマスケレドモ、絲價ノ安

定トカ、此生絲輸出ノ振興ト云フヤウナコ

トニナリマス、先ヅ第一ニ先日モ

申シマシタ生絲ノ價ガ相當ナ安イモノニナ

ラナケレバナラナイ、ソレニハ生産費其他

ガ非常ニ安イモノニ付ケル方法ヲ講ジナケ

レバナラヌト云フコトヲ申シマシタ、是ガ

第一デアラウト思ヒマス、其次ニハ需要供

給ノ此狀態ガ常ニ統制サレテ居ラヌト云フ

ト、如何ニ斯ウ云フ風ナ法律ヲ拵ヘマシテ

モ、此出口ノ方バカリデ、其絲價ノ安定ト

カ云フコトヲ圖ラウト思ッテモ、ソレハ十分

ナ效力ガ無イノデハナイカト思フノデアリ

マス、無論政府ニ於テモ段々伺ヒマスレバ、

サウ云フ方面ノ事ニハ餘程御留意ニナッテ

居ルヤウデハアリマスケレドモ、私共カラ

見ルト、此此法案ニ依ッテ大イナル絲價ノ安

定ト云フコトヲ期スルコトハ出來ナイノデ

ヤナイカ、ソレヨリモット外ニ所謂需要供給

ノ鈞合ヲ付ケルト云フコトニ付テ、色ミナ

方法ヲ御執リニナルトカ、或ハ先程モ御話

ノアツヤウナ、場合ニ依レバ……生産數ヲ

需要供給ノ上カラ見テ、場合ニ依レバ生産

制限ヲ付スルトカ云フヤウナ方法ヲ御講ジ

ニナルコトニ付テ、モット必要ナ方法ガ外ニ

アルノデヤナイカト、斯ウ考ヘラレマス、

チョット意見ノヤウニ思ヒマスガ、ソレニ付

テハドウ云フ御考デセウカ

○政府委員(井野碩哉君) 誠ニ御尤ナ御話

デゴザイマス、私共モ此販賣統制法ダケニ

依ッテ絲價ノ安定ヲ圖ルト云フヤウニハ無

論考ヘテ居ラナイノデアリマシテ、今日我

國ノ蠶絲業ノ安定ヲ期シマス爲ニハ、御承

知ノ如ク蠶絲業ハ各部門ニ互ッテ非常ニ複

雜ナ機構ヲ持ッテ居リマスカラ、出來ルダケ

各部門ニ於ケル其機構ノ改善ヲ圖ッテ行ッ

テ、段々ト安定セシメルヤウニシテ行キタ

イ、其内ノ策ヲ得マシタモノノ中カラ、順

次御協賛ヲ願ッテ、其實現ニ努メテ居ル譯デ

アリマスガ、私共ガ此今日ノ蠶絲業ニ直面

イタシマシテ本年度ノ施設トシテ現ハシタ

イト考ヘマシタ事項ハ、此前モ此委員會デ

申上ゲタカト思ヒマスガ、三ツノ點ヲ基準

ニシテ、基調ニシテ立案シタノデアリマ

ス、其一ツハ先程御話ノ生産費ノ低下、是

ガ今日ノ人絹ニ對シマシテ對抗上是非

我國ノ蠶絲業上必要デアルト云フ所カラ、

生産費ノ低下ニ對シテ極力諸種ノ施設ヲ講

ズル、第二點ハ、生産及ビ販賣統制、即チ

第四部第一〇類 原蠶種管理法案特別委員會議事速記録第廿號

昭和九年三月二十二日

貴族院

九

九

生産部内及び販賣部内ニ於ケル所ノ各種ノ統制施設ヲ講ズル、第三ガ需要増進、從來ノ消費量ニ付テ一層増進イタシマス爲ニ、新規ニ外ノ販路ニ向ッテ生絲ノ消費ヲ殖ヤシテ行ク、此三ツノ點ニ向ヒマシテ諸種ノ施設ヲ講ジタ譯デゴザイマシテ、原蠶種管理法ハ即チ其第一デゴザイマスル生産費ノ低下、生産ノ統制、此二ツニ對シマシテ先ツ蠶絲業ノ根幹ヲ改善シテ行ク、又追加豫算ニ計上イタシマシタ繭絲類ノ新規利用ノ研究費ノ點デゴザイマスガ、是モ金額ハ二十萬圓程度デゴザイマスガ、繭及絲ノ新シイ用途ヲ開拓シテ行ク、サウシテ需要増進ヲ圖ッテ行ク、即チ第三ノ點ノ需要増進ノ運動ヲソレニ依ッテ講ジタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、又産繭處理ノ點ガ非常ニ重大デゴザイマスカラ、乾繭倉庫ノ助成、繭檢定ノ擴張等ヲ行ヒマシテ、十分産繭ノ處理方法ヲ改善シテ行キタイ、ソレカラ又生産ノ統制ニ資シマス爲ニ先程申上デマシタヤウニ養蠶實行組合ノ指導員ヲ設ケマシテ、サウシテ其點ニ付テノ改善ヲ圖ッテ行キタイ、又臨時の施設トシマシテハ今日ノ春繭ニ對シマスル對策トシテ、供給過剰ノ繭ヲ共同保管スルコトニ依ッテ、其點ヲ緩和シテ行クト云フ意味ニ於テ二百六十萬圓ノ經費ヲ計上致シマ

シタヤウナ次第デ、此販賣統制モ販賣部門ニ於テ取引並ニ組織ニ於テ今日アル缺陷ヲ除去スルコトニ依ッテ、幾分デモ蠶絲業ノ安定ニ資シテ行キタイト云フ趣旨カラ此法案ヲ出シマシタヤウナ次第デアリマス、是等ノ事項ガ有機的ニ綜合致シマシテ、始メテ我國ノ蠶絲業ノ安定ヲ見ルコトヲ考ヘテ居リマス、今日ノ財政上我ミガ考ヘテ居リマス程ノ強イ諸種ノ施設ガナカ／＼行ヒ得ナイ實情ニゴザイマスカラ、財政ノ許ス範圍ニ於テ出來得ルダケノ事ヲシテ見タイト云フ意味カラ此本案ヲ提出致シマシタヤウナ次第デアリマスカラ、御説ノ通り、各部内ニ互ッテ總テノ點ヲ考ヘテ行カナケレバナラヌト云フコトハ我ミモ全ク同感ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○武井覺太郎君 私ハ直接此商賣ニ與ッテ居リマスル者トシテ年來ノ生絲貿易ノ實際ノコトヲ有リノ儘ニ皆様ニ申述ベテ見タイト思ヒマス、事ハ或ハ祕密ニセンケレバナラヌコトモアリマスルカラシテ、速記ダケハ御免除ヲ願ッテ、實際ノ所ヲ一ツ率直ニ申上ゲタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

○委員長(侯爵大隈信常君) 宜シウゴザイマス、ソレデヤ速記ヲ止メテ下サイ

(速記中止)

○委員長(侯爵大隈信常君) 速記ヲ始メテ

○阿部房次郎君 先程ノコトニ關聯イタシマシテモウ一ツ伺ヒタイノデ、私共ガ先程申上ゲタヤウニ資金安定ト云フモノハ、先ヅ需要供給ノ狀態ヲ成ルベク速ニ世ノ中ニ明確ニスルコトガ絲價ノ安定ノ第一ダラウト思フノデアリマス、ソレデ生産ノ方面、所謂供給ノ方面、生産ノ方面ハ……所謂、供給ノ方面ヲ世上ニ成ルベク速ニ知ラシメル方法ニ付テハ只今ドウ云フ風ナコトノ私案ヲ御持チニナッテ居ラレマセウカ、一應伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(井野碩哉君) 絲價ノ安定ヲ策シマス上ニ於テ需要供給ノ關係ノ狀況ヲ早ク世間ニ知ラセルト云フコトハ最も必要ナコトト考ヘテ居リマスガ、其方法トシマシデ、養蠶ニ付キマシテハ其年ノ春ノ養蠶デゴザイマスレバ、掃立數量ノ豫想ヲ發表シテ居リマス、ソレニ依リマシテ、大體此春ハドノ位ノ産繭ガ出テ來ルカト云フコトヲ世間ニ知ラシメテ居リマス、又秋ニ付キマシテモ同ジヤウナ狀況デ知ラシメテ居リマス、其時ニ掃立ガ産繭ノ豫想ヲソレニ依リマシテ發表イタシ 又實際ノ産繭ガ收穫サレマシタ時ニ其數量ヲ發表スルト云フ風ニ

致シマシテ、繭ノ供給方面ハサウ云フ手段ニ依ッテ世ノ中ニ知ラシテ居ル譯デゴザイマス、又生絲ノ方ハ、是ハ其產出セラレマシタ繭ノ情況ニ依リマシテ、大體世間ガ本年ハ其繭ニ依ッテ、ドノ位ノ生絲ガ市場ニ出ルカト云フコトヲ想像スルダケデゴザイマシテ、政府トシマシテハ、特ニ生絲ノ生産高ヲ豫想ナリ、其他ノ方法ニ依ッテ發表ヲシテ居リマセヌ、唯横濱、神戸ニ出テ參リマス出荷狀況ハ是ハ政府トシテハ別ニ發表シテ居リマセヌガ、其取引市場ニ於キマシテ大體サウ云フ數字ヲ發表スルコトニ依ッテ、我國ノ輸出市場ニ於ケル生絲ノ供給高ト云フモノガ分ル次第デアリマス

○阿部房次郎君 モウ一ツソレニ付テ伺ッテ見タイノデスガ、例ヘバ春繭ナラ春繭ガ收穫ガ終リマシテ、ソレカラ凡ソ幾日間位スルト云フト、今年ノ春繭ハ何程穫レタカト云フヤウナコトガ御分リニナリマスガ、又ソレカラ今年ノ春繭ノ歩留リハドンナ風デアルカト云フヤウナコトガ凡ソ幾日間程經テバ、ソレガ御分リニナリマスカト云フコトヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ生絲ノ絲ノ出來高ハ詳シウ全國的ニ餘リ統計ノ報導ト機關ガ無いノデゴザイマスガ、絲ノ方ナドハ是ハモウ比較的ニ……成程多數ノ製絲者

デアリマスケレドモ、其方法ヲ以テシマス
レバ、今月出來タモノハモウ來月ニハキッカ
リ分ラナケレバナラス、其位ナ手數ハ出來
ヌコトハナカラウト思フガ、其方法ハ御執
リニナッテナイヤウデアリマスガ、私共ハサ
ウ云フ方面ヲ絲價ノ安定ニ付テハ政府ガ
モット立入ッテオヤリニナラヌト云フト、如
何ニ斯ウ云フ法案ヲ出シテ、出口デ之ヲ制
シヤウト思ウテモ、其サウ云フ方面ヲモソッ
ト迅速ニ早ク今年ハドレダケ春繭ガ出來
ルカ、其歩留リハドウデアアルカ、ソレカラ
出來タ絲ハドウデアアルカト云フコトヲ、成
ルベク迅速ニ此世ノ中ニ知ラシメルト云フ
コトガ、絲價ノ安定ト云フコトニ付テノ第
一ノマア要素デアラウカト、斯ウ考ヘルノ
デアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付テハ先程モ
伺ヒマシタケレドモ、尙ホ伺ッテ見タイト
思ヒマス

○政府委員(井野碩哉君) 繭ガ生産サレマ
スル數量等ノ豫想等ニ付キマシテハ、先程
申上ゲマシタヤウニ掃立ヲ先ヅ春蠶ニ付キ
マシテハ五月頃發表イタシマシテ、實際ニ
ソレガ收購サレマシタ實數ニ付キマシテハ
七月ノ末……ダト慥カ思ッテ居リマスガ、其
頃ニ發表サレルコトニナッテ居リマス、其間
ニ於テ政府ノ發表ノ外ニ全國養蠶業組合聯

合會ニ於キマシテモ、其豫想ヲ又發表シテ
居リマス、是等ノ民間團體ト政府トノ豫想
ヲ比較イタシマシテ、大體民間ニ於テハ今
年ハドノ位ノ繭ガ出來ルカト云フコトヲ見
當ヲ付ケテ居ル次第デゴザイマシテ、
是ヨリ早クハ世間ニ知ラスコトハ困難
デアラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ
生絲ニナリマシテカラノ製造數量等モ、
是モ出來ルダケ早ク發表ガ出來マスレバ
結構ナノデゴザイマスケレドモ、御承知ノ
如ク、繭ノ出盛リハ生繭デ一時ニ市場ニ
出マスノデ、製絲家ガ之ヲ爭ッテ買フト云フ
ヤウナ狀態デ、自ラノ工場ニ收メマシテモ、
乾繭裝置ニ依ッテ乾繭倉庫ニ推積シテ居ル
ヤウナ次第デ、一年ヲ通ジテ平均的ニ製絲工
程ヲ繰返シテ居リマスノデ、生絲ノ生産高
トシマシテハ、寧ロ或ル時期ニ一時ニ出來
ルト云フヨリハ、月々平均的ニ段々ト出來
テ行ク、從テ其結果ハ何ニ依ッテ分ルカト云
フト、横濱ノ生絲検査所ノ検査ニ依ッテ實
驗ノ際ニ、其實情ガ分ッテ來ルト云フヤウ
ナ實情デアリマスカラ、今年ノ生絲ガドレ
ダケ出來タカト云フコトハ、繭ノ如ク一時
ニ出來ルモノデアリマセヌカラ豫想ガ困難
ニナリマス、從テ繭ガ出マスレバ、其繭ト
云フモノハ殆ド上繭ノ大部分ハ生絲トシテ

生産サレルモノトシテ、市場デハ其見込デ
總テ行動ジテ居ルヤウナ譯デゴザイマシ
テ、生絲検査所デノ検査ノ成績ハ、毎日ノ
分ヲ翌日發表シテ居リマスカラ、ソレ等ニ
依ッテ大體輸出スル數量ハ分ッテ來ルト考ヘ
テ居リマス

○阿部房次郎君 モウ一ツ御願ヒシタイ
ガ、サウ致シマス、生絲ハ先ヅ其年ニ出
來ル繭ノ豫想デ以テ、凡ソ此位出來ルト云
フコトノマア想像ヲスルト云フ御話デアリ
マスガ、生絲ノ方ハ月ミデモ直グニ其報告
ヲ取ッたら絲ノ出來高ハ分ルノデヤゴザイ
マセヌカ、サウ云フコトハマア大變……全
國ニ多數ノ製絲會社ガアリマスカラ手數デ
ハアリマセウケレドモ、方法ヲ備ヘたら分
ラヌコトハナイカト思ヒマスケレドモ如何
デス

○政府委員(井野碩哉君) 各生絲工場ガ每
月造リマス數量ヲ政府ニ取リマスコトハ、
是ハ非常ニ……手數ハ何デモナイト致シマ
シテモ、其各製絲工場ノ商機ニ關係シテ來
テ、ナカノ實際ノコトヲ言ッテ貰ヘナイノ
デヤナイカト思ヒマス、自分ノ工場ガドレ
ダケト云フコトガハッキリシテ參リマス、
小サイ工場ハ宜イケレドモ、大キナ工場ニ
ナリマスト商機ニ關係シテ來テ、實際ノコ

トヲ言ッテ呉レルカドウカ私共疑ッテ居リマ
ス、殊ニサウ云フ面倒ナ事ヲ致シマシテ、
實際ノ事ガ分レバ結構デゴザイマスガ、實
際ノ事ガ分リマセヌト、三千有餘ノ工場カ
ラ其數量ヲ取リマシテモ、結局ソレダケノ
勞ラ費シテ效果ガ無イト云フコトニナルノ
デヤナイカト思ヒマス

○阿部房次郎君 イヤ、御説御尤ト存ジマ
スルガ、私ガ先程申シマシタ、ドウシテモ
需要供給ノ狀態ヲ明ニスルコトガ、市價ノ
安定ノ第一トシマスルナレバ、生絲ノ出來
高ヲ……其月ノ出來高ヲ翌月ニ取ル位ナコ
トハ、ドウシテモ爲サラナケレバナラスノ
デヤナイカ、或ハ今ノ商機ヲ逸スル、斯ウ
云フコトハ御尤デス、是ハ商賣人ノ言フコ
トデアリマスケレドモ、丁度ソレニ付テ一
例ヲ申上ゲマス、日本ノ紡績業、是ハ會
社ハ六十四五デスケレドモ、工場ノ數ハ七
八百モアリマセウ、千以上モアリマセウガ、
其月ノ出來高ハ翌月ノ四日ノ日ノ午後四時
ニハ必ズ發表スルト云フコトニ致シテ居ル、
モウ必ズサウシテ居ルノデスケレドモ、却
テソレガ其商機ヲ逸スルトカ何トカト云フ
問題ヨリハ、世ノ中ニ需要供給ノ有様ヲ極
クハッキリ與ヘテ、サウシテ人ガ……商賣ス
ル人ニ疑惑ノ觀念ヲ少カラシメル、餘程其

效果ガアルノデアリマスガ、是ハマア綿絲トハ違ヒマスカラ何デスケレドモ、今ノ商機云々ト云フ問題ハ一部分ニハサウ云フ事實ガアルカモ知レマセスケレドモ、或ハソレハ餘リ重キヲ御置キニナラナイデモ宜イ問題ト思ヒマスノデ、ドウシテモ市價ノ安定ト云フコトハ、先ヅ第一ニ需要供給ノ状態ヲ早ク成ルベク世間ニ與ヘテ、賣ル人モ買フ人モ、ソコニ根源ヲ置カナイト云フト、唯出口ダケデ輸出ノ統制トカ、問屋ノ制限トカ云フコトダケデハナカ／＼末デアツテ、效果ガ薄イヤウニ思フノデアリマスガ、甚ダ議論ノヤウニナツテ失禮デゴザイマスケレドモ、序デニ一應申上ゲテ置キマス

○政府委員(井野碩哉君) 先程ノ御尋ノ點ガ、製絲工場ガ其工場ニ於テ出來タ生絲ノ數量ヲ早ク知ラシメルト云フ點デゴザイマシタカラ、私共モナカ／＼其工場デドレダケノモノヲ其月ニ造ツタト云フコトヲ直グ報告スルト云フコトハ、眞實ヲ得難イノデハナイカト考ヘタノデゴザイマスガ、先程御話ノ紡績聯合等ニ於キマスル發表ノヤウナ状態ハ、丁度生絲ニ付キマシテハ、其生絲ガ出荷サヘサレマスレバ横濱、神戸ニ集ッテ來ル、ソレハ必ズ生絲検査所ノ検査ヲ經ナケレバ輸出ガ出來ナイノデアリマス、各

工場カラ出テ参リマシタ生絲ノ前月ノ出荷數量ト云フモノハ、其生絲検査所ノ検査成績ニ依ツテ數ガハッキリ分ルノデアリマス、其程度ニ於テハ一般ニ世間ニ供給量ガ報ゼラレルモノト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○阿部房次郎君 分リマシタ

○委員長(侯爵大隈信常君) ソレデハ今日ハ是デ散會イタシマス

午後四時二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵大隈 信常君
副委員長 子爵片桐 貞央君
委員 伯爵黑木 三次君
子爵伊集院兼知君
子爵大岡 忠綱君
男爵足立 豐君
男爵肝付 兼英君
男爵岩村 一木君
今井 五介君
阿部房次郎君
宇野 勇作君
長野 忠次君
大西虎之助君
武井覺太郎君

政府委員

農林政務次官 子爵織田 信恒君
農林省蠶絲局長 井野 碩哉君

貴族院原蠶種管理法案特別委員會
議事速記録第三號正誤

頁 二二三
段 行 誤 正
事業 二十六萬 二百六萬
事業 事業